推薦選抜における作文の問い

次のことばについて、あなたが感じ、考えたことを六百字以内で述べなさい。（50分）

令和6年度	人はパンのみにて生きるにあらずと言う。いや、パンも味わおうではないか。そして同時に、パンだけでなく、バラももとめよう。	國分　功一郎
令和5年度	木は不幸ではない。冬の木は葉を落(おと)して素裸かもしれないけれど、不幸ではあるまい。	開高　健
令和4年度	「人間らしさ」という言葉は、「人間らしさ」が失われようとするとき、あるいは損なわれるような事態に陥ったときに口にされる。	畑中　章宏

次のことばについて、あなたが感じたり思ったりすることを六百字以内で述べなさい。（50分）

令和3年度	ドアをあけると風が私を待っていた。だから私は、黙って風に自分を預けたのだ・・・・・・。	黒井　千次
令和2年度	「わかりやすさ」の罠(わな)にはまらないようにするためには、やはり私たち社会を構成するひとりひとりが、「知る力」をもっと鍛えなければなりません。	池上　彰
平成31年度	数について何かを発見するためには、数を転がして、ころころと手のひらで弄(もてあそ)ぶことが一番重要なんです。	藤原正彦
平成30年度	問題を出さないで答えだけを出そうというのは不可能ですね。	岡　潔
平成29年度	世界は「のっぺらぼう」である。	西江雅之
平成28年度	人生には二つの道しかない。一つは、奇跡などまったく存在しないかのように生きること。もう一つは、すべてが奇跡であるかのように生きることだ。	アルベルト・アインシュタイン
平成27年度	自分では前を見ているつもりでも、実際はバックミラーを見ている。	マーシャル・マクルーハン
平成26年度	私たちはしばしば、できないものを見つけることによって、できることを発見する。	サミュエル・スマイルズ
平成25年度	人間はその人の直面している条件に支配されてなどいない。むしろ逆に、その条件のほうにこそ、人間の決断いかんに支配されているのである。	V. E. フランクル
平成24年度	単純であることは、究極の洗練である。	レオナルド・ダ・ヴィンチ
平成23年度	発見とは識別であり選択である。	ポアンカレ
平成22年度	生きるということは徐々に生まれることである。	サン=テグジュペリ
平成21年度	海のほか何も見えないときに、陸地がないと考えるのは、けっしてすぐれた探検家ではない。	ベーコン
平成20年度	人間はただ個体として存在しているだけではない。人間には、人と人のあいだ、自分と世界のあいだで生きる以外の生きかたはない。	木村敏『生命のかたち／かたちの生命』
平成19年度	吾人※は自由を欲して自由を得た。自由を得た結果、不自由を感じて困っている。 ※ 吾人・・・われわれ	夏目漱石『我輩は猫である』
平成18年度	自然は曲線を創り、人間は直線を創る。	湯川秀樹
平成17年度	人間は、努力するかぎり、迷うものだ。	ゲーテ